



千代田日記

～ちよだにっき～

今月のごあいさつ

「アベノミクス・新三本の矢」

九月二十四日、自民党本部で安倍首相の記者会見がありました。そこで首相は「アベノミクスは第二ステージに移る」と経済最優先の政権運営を進める考えを表明しました。東京オリンピックが開催される2020年に向けた経済成長の推進力となる新たな三本の矢は①「希望を生み出す強い経済」②「夢をつむぐ子育て支援」③「安心につながる社会保障」の3項目です。

日本の課題である少子高齢化に立ち向かうと意気込みを示しましたが、具体策には乏しい内容です。また、2017年4月に予定されている消費税率の10%への引き上げも予定通り実施すると強調しました。「安心につながる社会保障」は財政負担の増大に直結します。今後も負担は増えることがあっても減ることはないでしょう。ますます、自助努力、日頃から資産について考えておくことが重要になっていくでしょう。



ご存知
ですか？

「芸術の秋」ということで、私どもの会社の所在地の千代田区が主催する「文化芸術の秋フェスティバル」が今月開催されます。

内容はオーケストラ、コーラス、芸能、作品展、と別れており、趣味で行う各団体が多数参加し日頃の成果を発表します。

25日の16時から17時の間を予定しておりますが、弊社社員も舞台上で元気に歌います。（お客様の誘いで男声合唱団に参加しました。）

入場無料ですのでお気軽に大手町・日経ホールまで遊びに来ていただければ幸いです。

算

夜空に輝く「秋の四辺形」

ご存知のとおり、星座は、

暮らしの足し

宇宙に存在する大小の星星の灯りをつなげることで、動物や人物などに見立てるものです。昔から、それぞれの国や地域・文化圏内で多くの星座が生まれ、中には定着せずに消えていったものもあると言われていました。現在は、一九二八年に国際天文学連合で定められた「八十八星座」が一般的に用いられます。「ギリシア神話」に由来するものが多いことでも知られます。



秋に見られるもので代表的なのは「ペガサス座」の「秋の四辺形」です。その名のとおり、天馬・ペガサスの姿をあらわしています。古くバビロニアの彫刻にその姿が残されており、それがギリシアに

伝えられたものと考えられています。星座の形は巨大



な四辺形の胴体に心持ち頸を引いた馬の頭部と、前に大きく伸ばして今にも駆け出そうとする姿勢の前足で描かれます。ただし、日本の夜空では上下さかさまに見えますが、天頂付近で四つの星が描く「秋の四辺形」は大きくて目立つので、一目でわかると思います。一般に、秋の星座は夏や冬に比べて明るいものが少ないと言われますが、「秋の四辺形」はわかりやすく、他の星をさがす目印にもなるほどです。

秋の夜長……この秋は、ペガサス座の秋の四辺形をさがしてみませんか、星を見ながら過ごすのも良いかもしれませんね。

率直に話す、素直に詫がる。

こうした態度を貫くことが、

人間関係で成功するいちばんの近道となる。

—— 斎藤茂太

精神科医・随筆家で、「モタさん」の愛称で親しまれた斎藤茂太さん。二〇〇六年に九十歳で亡くなるまで、家族や心をテーマにした随筆を数多く遺しました。

祖父は、一代で「青山脳病院」という大病院を築いた精神科医であり、政治家としても活躍した斎藤紀

一。父親は、同じく精神科医で歌人でもあった、斎藤茂吉。茂吉は、教科書にも掲載されていた「みちのくの母のいのちを一目見む一目見むとぞいそぐなりけれ」などの歌で知られています。

弟は、精神科医であり、芥川賞作家の北杜夫。「どくろのマンボウ」シリーズなどで有名です。

医師として心の病に苦しむ人々と向き合いな

から、文芸においても秀でた才能を発揮してきた斎藤家の人々。中でも、生前のモタさんはその優しく穏やかな人柄で多くの人に慕われ、今もなお、温かくも明確な言葉で、「心の名医」としてたくさんの人を励まし続けています。

モタさんは、多様な人間関係で苦闘する人に対しても、「『人が、自分が』とアピールするよりは、まずは相手を敬う気持ちを持つこと。ですから人つきあいにおける最も大切な究極の言葉は『ありがとう』であると私は思います」と、乗り越えるヒントを送ってくれています。





「補助犬」について知ろう〜ユニバーサル社会へ

押したりし、着がえの手伝いもしません。

補助犬は、外にいるときはいつでも「仕事」です。気が散るようなことをすると、仕事に集中できなくなり、使用者さんも非常に困ってしまいます。私たちが街中などで補助犬を見かけたら、「食べ物や水を勝手に与えない」「可愛いからといって見つめたり、触ったり、話しかけたりしない」「写真を撮らない」といった点にくれぐれも注意しましょう。さらに、使用者さんが困っているような場面に出くわしたら、「お手伝いすることはありますか」と、本人に声をかけましょう。

により、お店側が「補助犬を同伴した人を快く受入れます」という気持ちを表すことのできる「補助犬マーク」というものがあります。施設やお店の方々は、このマークを入口など目立つ場所に掲げ、温かく迎えるよう意識してみましよう。

素晴らしい能力を発揮してサポートしてくれる補助犬ですが、そのためには様々な特別な訓練を受けなくてはなりません。ほめられるのが嬉しくて、尻尾ふりながら懸命に社会参加している補助犬たち。これからも温かく見守っていききたいと思えます。

さて、二〇二〇年には、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されるのが話題になっています。

パラリンピックには、世界中からパラリンピアンズ（パラリンピックに出場経験のある選手の総称）はもちろんのこと、選手を応援するため

に障害のある方々が多く来られます。もちろん、補助犬もたくさん同伴されて訪れるでしょう。

その時に、「日本は素晴らしい」と言っていただけのような「ユニバーサル社会」（年齢・性別・障害の有無、文化などの違いにかかわらず、誰もが地域社会の一員として支え合うなかで安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して元気に活動できる社会）になれるよう、補助犬のことや接し方なども理解し、私たち1人1人が今、できることから始めたいと思います。

みなさんは、「補助犬」（別名「サービスドッグ」）をご存知ですか？

正式には「身体障害者補助犬」といい、「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」の総称です。盲導犬は、目の不自由な人が安全に街中を歩けるように、段差や曲がり角などを教えます。胴体にハーネスをつけているのが特徴です。聴導犬は、耳が不自由な人に代わって音を聞き、それを知らせます。特に、車のクラクションやドアチャイムの音、非常ベルなどを教えます。介助犬は、手足が不自由な人に代わって、落としたものを拾ったり、ドアを開けたり、スイッチを



心得の教科書

運動会での親のマナー違反

最近では五月に運動会を

行う学校が多くなっていま
すが、「体育の日」があること
から、「やっぱり運動会は十
月」という学校・地域も少な
くないでしょう。可愛い我が
子の晴れ舞台ということも、

保護者としても気持ちが高
まりますよね。しかし残念な
がら、回りが見えなくなり、
マナー違反をしている方も
多く見受けられます。

とくに、「良い場所で応援
したい」という想いから、多
くの方が「場所取り」に執着
してしまいがち。前日から
シートを敷きに行ったり、並
んでいる列に割り込んだり、
少人数なのに最前列に広く
場所をとったりと、エキサイ
トになってしまうのです。

保護者同士のトラブルを

避けるため、近年

は学校や幼稚園でルールを
決めているところもたくさ
んありますが、そのルールを
破ってでも……という人も
いて、対応に苦慮していると
いう声を耳にします。

運動会はあくまでも子ど
もたちのイベントであり、教
育活動の一環。本来なら、大
人たちは「お手本」にならね
ばいけないのです。決まりや
マナーをしっかり守りなが
ら、清々しく気持ちの良い振
る舞いをしたいものです。



★指切りげんまん★

「指切りげんまん」の「げんまん」とは、次の中で
どれでしょう？

- ア. げんこつ 1 万回
- イ. 現金 1 万円
- ウ. 元気満々



【正解】 ア

【解説】 げんまんは「拳万」と書き、
「嘘をついたら、げんこつ（拳骨）で一
万回叩く」という意味で使われていたそ
うです。もともと「約束を絶対に守る」

という意味の「指切り」に、さらに強い
意味を持たせるために後から「拳万」が
続くようになり、同様に「針千本飲ま
す」も付け足されたそうです。約束はき
ちんと守らなくては……怖いですね！